

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 139

2019年6月22日発行 通巻No.149号

創刊2007年2月26日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL: 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX: 03-6303-8265

MAIL: npokouken@gmail.com HP: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆2019年度通常総会が終了◆

6月9日、2019年度通常総会を開催しました(13時半開始。荏原第五区民集会所)。総合司会の高原三平事務局長の挨拶に続き、古賀忠壹理事長が「昨年度は組織を挙げて、10周年記念式典を2日間にわたり開催し、成功裡に終えることが出来ました。これもひとえに会員の皆さんのお蔭です。小さな団体があのように実行できたことを我々は誇りに思ってもいいと思います。創立10周年の成果を踏まえ我々の求めている社会が少しずつ進展して行ければ良いと思います」と開会の辞を述べました。続いて総会の開始です。正会員数95名のうち当日出席者44名、書面出席者37名、計81名の参加で総会は成立しました。

古賀理事長が議長に選出され議事が始まり、高原理事により第1号議案「2018年度事業報



新会員の皆さん 左から本村さん、金子さん、佐藤さん、渡橋さん、齋藤さん

告」、内山理事により第2号議案「2018年度決算報告」の説明がなされ、青木誠監事の監査報告がなされ、活発な質疑応答の後、全員一致で承認されました。続いて高原理事により第3号議案「2018年度事業計画」、内山理事により第4号議案「2019年度活動予算」の説明がなされ、質疑応答の後、全員一致で承認され総会は終了しました。総会終了後の茶話会では、今年新たに私たちの仲間になられた新会員のうち出席した5名の自己紹介が行われ、和やかな雰囲気のもと会員相互の交流が行われました。

◆月曜カフェ◆

5月27日（月）、第18回月曜カフェが品川区役所「啓発展示室」で開催されました（19名参加 10時～12時）。テーマは「認知症カフェについて」。スピーカーは本会理事で民生委員でもある高橋宣子さん。高橋さんらファイナンシャルプランナーの人たちが中心となり約10年前に川崎市宮前区に立ち上げた「土橋（つちはし）カフェ」について語って頂きました。

立ち上げのきっかけは、自宅にこもっている高齢者の方たちに気軽に「お茶でも飲みに行こう」という感じで来てもらえる場があればいいのでは、とエイヤツという感じで始めたそうです。運営母体は宮前区町内会で、毎月第一水曜日の13時半から16時半まで土橋町内会館で開かれています。お客さんは一人暮らしの高齢者や認知症当事者の方たちまたその家族で中には毎回横浜から来られる認知症になった母親と娘さんの二人連れもいるそうです。

スタッフは町内会の会員や民生委員、そこに医師他の専門職の人たちも加わり、お客さんたちと一緒にワイワイガヤガヤとやっているそうです。「頭の体操」や「ミニ講座」なども行い専門家の人たちに来てもらう事もあるそうですが謝礼はコーヒー一杯だけ。

抹茶を出したことがあったそうですが、ある高齢の女性がとても嬉しそうな笑顔を見せ、付き添っていた夫が「妻はお茶の先生をやっていたが、あんな嬉しそうな顔を久しぶりに見た」と言っていたそうです。月1回の開催なので行くのを忘れられそうですが、近所の人たちや民生委員の人たちが声をかけるよう気をつけているそうです。注意していることは「あの中には私は入れない」と思われたいこと。一部の人たちだけが集まることのないよう心掛けているそうです。



地域活動を進める本会にとって、カフェへの可能性なども考えさせられる貴重な時間でした。

◆お二人を納骨◆

5月28日、養玉院如来寺（品川区西大井）内の合同供養碑「成魂碑（※）」において、午後2時から品川成年後見センターによる合同納骨式が行われました。本会が後見業務を担当してきた二人の方（女性：平成26年受任、30年11月逝去・70歳、男性：26年受任、30年12月逝去・83歳）の納骨も行われ、本会からも後見担当者をはじめ5名の会員が参列しお別れをしました。

（※）品川区内の後見人活動を進めている団体・個人が関与して、引き取り手がない被後見人の方たちの遺骨を埋葬するために建立された（平成28年3月）もの。

◆2019年5月度理事会報告◆

- 1 開催日時 2019年5月20日(月)17時00分～19時20分
- 2 催場所 品川区本会事務所
- 3 出席理事 朝倉鈴子、内山恵子、金城清、古賀忠壹、小松統、澤谷義則、杉谷徹夫、高橋宣子、高原三平各理事

<審議事項>

- ① 2019年度社協支援員候補者(20名)の推薦の決議をした。

<協議事項>

- ① 2019年度通常総会プログラムについて協議した。
- ② 本会規程類の体系について協議した。

<報告・連絡事項>

- ① 「成魂の碑(養玉院)」合同納骨について以下の通り報告があった。(小松)
 - ・本会の対象者は、21号、24号。納骨日は5月28日
- ② 情報交換会(7月6日)について連絡があった。(小松)
- ③ 後見活動謝金支払いについて連絡があった。(小松)
- ④ 報酬付与書作成の様式変更等について連絡があった。(小松)
- ⑤ 寄付金の受入れについて以下の通り報告があった。(高原)
 - ・寄付者 和久井良一会員 ・寄付額 1万円 ・受領予定日 5月27日
- ⑥ 施設・ケアホーム東大井の家族会において、職員による利用者(37号が対象ではなかった)への不適切対応があった旨の連絡があった。(内山)
- ⑦ 本会HPへの10周年記念誌、記録集の掲載についての途中報告があった。(金城)

<今後の予定>

- ・特養見学会 6月29日(土)14時～
- ・情報交換会 7月6日(土)13時～
- ・7月度理事会 7月22日(月)17時～
- ・監督人・後見人等連絡会 7月29日(月)15時30分～
- ・月カフェ 7月29日(月)18時00分～

(記 高原三平)

◆成年後見を誰に託すか◆

ベストセラーになった『おひとりさまの老後』などで知られる社会学者の上野千鶴子さん。今年4月の東大入学式の祝辞でも話題を呼んでいる。その上野さんが『文藝春秋 六月号』に「認知症で自己決定できなくなったら」という論稿の中で次のように言っています。市民後見人に関する部分を要約・引用します。「『成年後見を誰に託すか』。最近、市民後見人養成講座が流行っている。市民後見人を生かすには、団体の信用をバックに働いてもらう方がよいだろう。成年後見は社協やNPOなど社会的に信頼のおける団体に託す方が良さそうだ」。

2019年度通常総会が無事終了し、本会の活動の重要性を再認識させられました。十分な活動のためにも組織の健全な運営が必要です。2019年度の会費がまだの方たちが約20名ほどがいられます。多分忘れているんだと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(編集 金城 清)